

営繕とろほく

EIZEN TOHOKU

発行
東北地方整備局営繕部
青森営繕事務所
秋田営繕事務所



豊穡の森が奏でる水と光のシンフォニー ～秋田八幡平 大滝～ (左上)
夏の夜空を彩る秋田竿燈祭り (右下)

CONTENTS

秋田県の営繕工事について<秋田県>	2～3
グリーン改修について	4
保全ニュースとろほく	5～6
平成21年度 官庁施設保全連絡会議を東北各県で開催 建築物点検シリーズ7(建物外部編その4) ～国家機関の建築物の定期点検制度の見直しについて～	
平成21年度営繕優良工事表彰について	7

秋田県の営繕工事について

秋田県建設交通部営繕課

1 はじめに

秋田県は首都東京のほぼ真北450kmの日本海沿岸に位置し、面積11,637km²は全国第6位の広さを有しています。県土の南北に並行して横たわる奥羽山脈や出羽丘陵をぬうように、雄物川や米代川、子吉川が流れ、これら河川に沿って肥沃な平野が開けています。

また、色彩感あふれる四季に富んだ自然を誇り、滝田洋二郎監督による映画「釣りキチ三平」では秋田県内の各地でロケが行われ、秋田の美しい自然をバックに繰り広げられたドラマが多くの人々を魅了しました。

2 重点的な取り組み

本県では、512施設・延べ面積約214万m²の県有施設（教育施設を含む、警察施設・公営住宅を除く）を保有しています。そのうち、大館樹海ドームは国内最大級の木造建築物（長径178m）として知られており、三大美林のひとつである秋田スギの産地である秋田らしさを象徴しています。

営繕課ではこれら県有施設の新築及び増改築工事に関する調査・設計・工事監督等の業務を担当しており、安全で安心して利用できる県民共有の財産の整備を図っています。

県民共有の財産である県有建築物が、多くの県民に活用されるとともに、多様なニーズに対応する建築物であるために、次のような基本事項を踏まえた取り組みを実践しています。

- ① 県民に親しまれる建築物
 - ・ 街並みや周辺環境と調和した建築計画。
- ② 利用者にやさしい建築物
 - ・ 地域の気候風土を踏まえ、敷地と建築物の各機能に応じた適切なバリアフリーを推進。
- ③ 環境にやさしい建築物
 - ・ 自然エネルギー（地中熱、雪冷房、太陽熱等）、雨水、地下水の利用。再生資材の活用。
- ④ 県産材を活用した建築物（木造のできる建築物は木造が基本）
 - ・ 秋田杉に代表される県産木材を活用し、公共建築物の木造化、木質化を推進等。
- ⑤ 安全で安心して使える建築物
 - ・ 構造上、防災上の安全性の他に、使用材料の安全性の確認。
- ⑥ 広報・広聴の充実
 - ・ 美の国あきたネットを活用した発信情報の充実。

3 今年度の主な事業紹介

今年度の営繕工事では、医療・療育と特別支援教育施設を一体的に整備する「秋田県子ども総合支援エリア」の整備を急ピッチですすめており、平成22年3月に竣工予定です。

また、高等学校の建替えと統合による学校整備を順次進めており、矢島高校が平成21年2月に竣工し、現在、湯沢地区統合校（仮称）と北秋田地区統合校（仮称）は平成23年3月の竣工を目指して工事中であり、能代地区統合高校（仮称）は平成25年4月の開校に向けて計画中です。

(1) こども総合支援エリア整備事業

- [建築場所] 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢地内
[竣工予定] 平成22年3月 (H20～22工事)
[計画概要] 鉄筋コンクリート造2階建 ほか
延べ床面積計 約28,000㎡



こども総合支援エリア イメージパース

[施設の特徴]

「秋田県こども総合支援エリア(仮称)基本構想案」に基づき、単に既存施設の補完や統合・整備にとどまらず、医療と教育の連携による総合支援の提供や自立・共生・社会との交流などを視野に入れた、これまでにない全く新しい環境を提供することを目指して計画された施設である。

(2) 湯沢地区統合高校(仮称)整備事業

- [建築場所] 湯沢市湯ノ原地内
[竣工予定] 平成23年3月 (H21～24工事)
[計画概要] 鉄筋コンクリート造6階建 ほか
延べ床面積計 約15,000㎡



湯沢地区統合高校 イメージパース

[施設の特徴]

湯沢北高校と湯沢商工高校が発展的に統合し、普通科・総合ビジネス科・工業技術科と高校既卒者を対象とした2箇年の専攻科から構成される新統合高校であり、現在の湯沢北高校の敷地を活用して、現地建替を行う。

(3) 北秋田地区統合高校(仮称)整備事業

- [建築場所] 北秋田市伊勢町地内
[竣工予定] 平成23年3月 (H20～24工事)
[計画概要] 鉄筋コンクリート造3階建 ほか
延べ床面積計 約17,000㎡



北秋田地区統合高校 イメージパース

[施設の特徴]

北秋田地区の鷹巣農林高校と鷹巣高校、米内沢高校、合川高校の4校の統合に伴い整備され、普通科5クラス・生物資源科1クラス・緑地環境科1クラスの7クラスを一学年とする統合高校である。

(4) 矢島高等学校校舎等改築事業

- [建築場所] 由利本荘市矢島町元町地内
[竣工] 平成21年2月(平成21年4月開校)(H19～21工事)
[計画概要] 鉄筋コンクリート造2階建 ほか、延べ床面積計 約5,300㎡

[施設の特徴]

「中高連携校」、「新たな学校運営・社会要求に応える施設」、「気候風土への配慮」を基本コンセプトとし、由利本荘市立矢島中学校との連携教育による職員・生徒との機能的かつ柔軟性のある合同活動や相互交流を図ることを目的とした高校である。



平成21年度 官庁施設保全連絡会議を東北各県で開催

今年度は6月24日の宮城会場を皮切りに、東北6県で官庁施設保全連絡会議を開催しました。各会場合わせて231名と多くの皆様に参加をいただき、ありがとうございました。

今年度の会議は、本格的な夏の到来の前に「地球温暖化対策」に向けたクールビズの啓蒙と、国家機関を対象に7月31日及び8月14日の報告期限で依頼しました「保全実態調査」への協力要請等を踏まえ、6月下旬～7月中旬に開催させていただきました。

◆会議前(又は後)に保全相談コーナーを設置しました

予算要求方法や建物の定期点検の実施方法等の相談が寄せられました。

なお、施設管理等についての相談は東北地方整備局営繕部及び青森・秋田営繕事務所の「公共建築相談室」にて随時受け付けておりますので、よろしくお願ひします。

◆官庁施設保全連絡会議の議題

午後からの保全連絡会議では、「国家機関の建築物等の保全の現況」、「保全業務支援システムの活用について」、「国家機関の建築物の定期点検について」、「庁舎修繕の予算化と平成22年度要求単価について」、「PCB廃棄物の処理について」、「政府実行計画の推進について」、「地震等災害時の被災状況連絡体制について」といった議題について説明を行いました。



◆「施設保全管理マネージャー証」を発行しました

「施設保全管理マネージャー証」とは、施設保全管理者の業務意識向上等を目的に主に各地区保全連絡会議に参加された方に発行しているものです。宮城・福島地区、青森・岩手地区は平成20年度から、秋田・山形地区は平成16年度から発行しています。

なお、本会議に3回出席された方には「施設保全管理グランドマネージャー証」発行しており、今年度は秋田会場で1人、山形会場で2人の方に発行し、表彰式を行いました。

◆アンケートの結果から

本会議についてのアンケートに多数御協力いただきありがとうございました。

やはり、建物の定期点検の実施方法等についての関心が非常に高く、それについての意見や要望等も多数寄せられました。

また、「非常に参考になりました」等のお褒めの言葉をいただいた一方で「全体的に説明が早口」「専門用語が多く解りにくい」などの意見もいただきました。

このアンケート結果を参考に、来年度以降も「官庁施設保全連絡会議」を開催いたしますのでよろしくお願ひします。



